



明るい雰囲気の本社工場

長島精工 株式会社

研削盤の開発・製造・販売

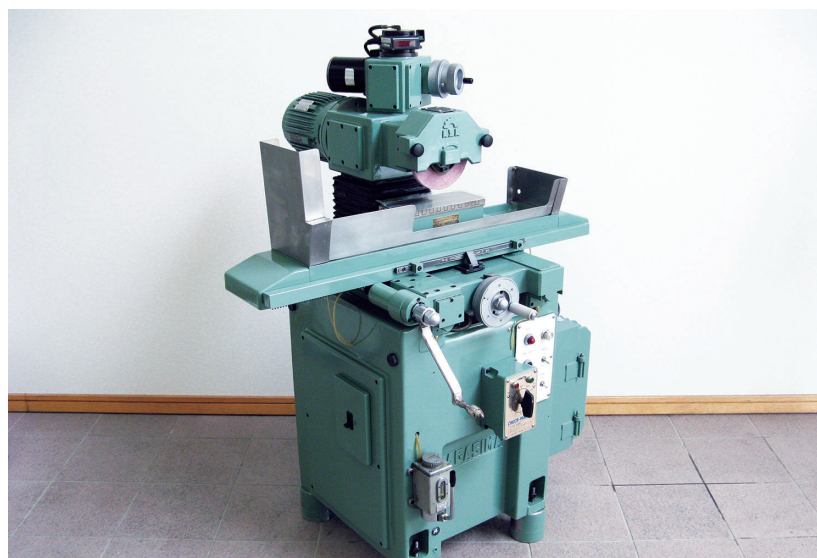
手作りで超高精度を実現する 精密研削盤メーカー

主な事業内容

各種精密研削盤の設計・製造・販売
各種精密工作機械の修理

主な製品

平面研削盤、円筒研削盤、ネジ研削盤



メーカーとして最初に開発した平面研削盤



完成に合わせ作業は欠かせない



若手社員は連日基礎技能習得

事業内容と沿革 下請けからメーカーへと転換

現社長の長島基氏の父である長島善之氏が大手メーカー勤務時代に得た工作機械に関する技能を生かし、独立して昭和48年に創業した。当初は下請けでの部品加工や専用機的设计及び製作、工業用ミシンの製造、各種工作機械の修理などで仕事を広げた。当時の工作機械は輸入品が主流だったが、高価かつ長納期、アフターサービス対応が悪いなど不満も出ていた。そんな中ちよくちよく修理訪問し、実績を評価されていた大手家電メーカーから「国産の研削盤をつくってみないか」と声かけがあった。

「どうせやるからには」と当時世界一の精度といわれていた独カール・ユング社の平面研削盤を上回るものをつくろうと奮闘した。昭和57年に完成した1号機には「JUNG(ユング)」をもじって「YANG(ヤング)」と名付け、商社を通じて何台か販売したという。

昭和60年には下請けから撤退し、機械メーカー一本で歩むことを決めた。平面研削盤から円筒研削盤、ネジ研削盤など開発・製造する品種を拡大しながら、国産の高精度研削盤メーカーとして独自の歩みを続けている。

強み

キサゲ加工を繰り返し、 技能の土台を築く

「1000分の1mm以下の精度を保つために絶対欠かせない技術」と長島基社長が言い切るのが「キサゲ加工」だ。研削盤の精度を保つためには、永年使用しても摺動面が偏摩耗せず均一に摩耗するようにしなければならない。作業員それぞれが扱いやすいように工夫を施したノミのような工具で金属面を根気よく削り、微細な凹凸形状を作り出す。しかも三つの面を交互にキサゲ加工を行い、各面が平行に揃うまで何度もキサゲを繰り返す三面摺りを徹底している。

完全手作業でキサゲ加工を施した研削盤を製造しているのは今や同社だけ。単に伝統を守るために手作業を守っているのではなく、手作りでないと一段上の高精度を維持できないと考えているからだ。製造現場の社員全員にその考え方を浸透し、キサゲ加工を身に付けさせている。創業者が

真のメーカーを志向して以来、「丈夫で安心」「使い易い」「使い手を選ばない」の3点を満たす機械を作り続けてきた強みを維持するため、技能伝承を最重要視してきた。日々当たり前のことをできるように全員が心がけ、今も若手社員は毎日のように過酷な作業であるキサゲ加工を黙々と続けている。

それでも長島基社長が「キサゲを自分のものにするには少なくとも3年はかかる」と話すように、技能習得には時間がかかる。同社に入社した社員はキサゲ加工などの修業を経て4年目には2級技能士試験を受け、10年目で1級技能士を受ける。本社の壁には社員が取得した技能士免状がずらりと並んでいる。

同社のすべての製品には「この研削盤は、私が誠意と情熱を持って造り上げました。末永く愛情を持ってご使用ください」という文面と組み立てた技術者の名前を彫り込んだ銘板が取り付けられている。「1000分の1mmを確実に削れる機械」を目指し、加工精度を10年間保証するという他社には類を見ないことも行っており、キサゲを日々繰り返すことによって築いた自信を前面に打ち出している。

今後の展開

新たな価値を加える 製品開発が推進力

会社をたたく覚悟でメーカーへの転身を決めた昭和60年、リーマン・ショック直後に売上高が7割減となった平成21年をはじめ、これまで同社は様々な危機を乗り越えてきた。どの危機においても、前に進む力となったのは新製品開発だった。平面研削盤開発でメーカーとしての地位を築き、リーマン・ショック後の浮上のきっかけとなったのはネジ研削盤の開発だった。

それだけに長島基社長の頭の中には常に新製品開発がある。「1年に1機種は必ず新製品を開発したい」と口にし、ユーザーの要望に耳を傾けながら、使いやすい機械の構想を練る。もちろん高精度、丈夫で長持ちは各機種に共通するが、時代の変化に応じて新たな特徴を付加している。たとえば円筒研削盤は超高精度加工できる特徴から光学レンズやカテーター製造用の精密金型向けに多く使用されてきた。さらに「自動化、効率化」という開発テーマを掲げ、生産性を高められる機械の開発に取り組む。

高性能のモノづくりはヒトづくりから

「社員は宝」です。「丈夫で長持ち、使いやすい機械をつくり続けるためには、技能伝承は欠かすことができない」をモットーに、人材育成に力を入れています。全社員が技能を常に高めながら高精度の機械をつくり、お客さまに信頼いただけるよう、日々研鑽し努力を続けていきます。



代表取締役社長
長島 基さん

将来は
目指します！
欧州への販売も

住所	〒611-0033 京都府宇治市大久保町成手1-29
TEL	0774-45-3611
FAX	0774-45-3600
創業	昭和48年7月
設立	昭和52年7月
資本金	1,000万円
従業員	47名

<http://www.nagashima-seiko.co.jp/>

